

2022年10月のてがたんは、少人数・申し込み制で開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回のとがたんは、11月12日(土)で、テーマは「歌で楽しむ自然観察」です。ぜひご参加ください。11月1日の8時30分から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみならず、次回のとがたん下見は、10月30日(日)の9:30からです。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館 → 博物館裏 → 博物館駐車場東側 → 親水広場 → 鳥の博物館
- 観察日時と天気：2022年10月8日(土) 10:00 ~ 11:00 曇り時々晴れ
- 参加人数：8名(大人6名、小学生2名)
- 市民スタッフ：5名(石原直子、伊東茂子、小泉伸夫、弘實さと子、湯瀬一栄)
- 博物館友の会：1名(古澤紀元) ●鳥博職員：1名(岩本二郎)

観察した生き物の記録

* は10月2日の下見だけで見られたもの。

【鳥類】 カモ科：カルガモ、コガモ* / ハト科：キジバト / ウ科：カワウ / サギ科：ゴイサギ、ダイサギ / タカ科：トビ / キツツキ科：コゲラ* / モズ科：モズ / カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス / シジュウカラ科：ヤマガラ*、シジュウカラ / ヒヨドリ科：ヒヨドリ / エナガ科：エナガ* / メジロ科：メジロ* / スズメ科：スズメ / セキレイ科：ハクセキレイ / ホオジロ科：ホオジロ / 家禽および外来種：ドバト(ハト科)

【両生爬虫類】 爬虫類：ヒガシニホントカゲ*、カナヘビ*、ニホンヤモリ* / 両生類：ニホンアマガエル

【昆虫】 トンボ目：シオカラトンボ*、アキアカネ、リスアカネ、ノシメトンボ、ウスバキトンボ / カメムシ目：アオバハゴロモ、アブラゼミ*、ツクツクボウシ*、ヨコヅナサシガメ、キマダラカメムシ / ゴキブリ目：モリチャバネゴキブリ / バッタ目：ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、オンブバッタ、エンマコオロギ、モリオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、キンヒバリ、クサヒバリ、シバズ、マダラスズ、アオマツムシ / カマキリ目：オオカマキリ* / チョウ目：ナミアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、ジャコウアゲハ(幼虫)、キタキチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ウラギンシジミ、キタテハ、ツマグロヒョウモン*、コムシジ*、アカボシゴマダラ*、ヒカゲチョウ*、チャバネセセリ*、ヒロヘリアオイラガ(幼虫)、ヒトリガ(幼虫)*、アメリカシロヒトリ(幼虫) / ハエ目：ハナアブの仲間 / ハチ目：オオスズメバチ*

【クモ】 タナグモ科：コクサグモ(幼体) / ヒメグモ科：シロカネイソウロウグモ、オナガグモ* / ジョロウグモ科：ジョロウグモ / コガネグモ科：コガタコガネグモ(幼体)*、ゴミグモ*、コゲチャオニグモ*、オニグモ*

【多足類】 トビズムカデ* 【陸産貝類】 ミスジマイマイ*、ウスカワマイマイ*、ニッポンマイマイ、ナメクジ、チャコウラナメクジ

【キノコ】 カワラタケ

【植物】 草の花 ユリ科：ホトトギス / ツユクサ科：ツユクサ*、ヤブミョウガ / カンナ科：ハナカンナ / カヤツリグサ科：カヤツリグサ、ウシクグ、ハマスゲ / イネ科：ギョウギシバ、メヒシバ、オヒシバ、ススキ、ヌカキビ、シマスズメノヒエ、スズメノヒエ、チカラシバ、ヨシ、キンエノコロ、セイバンモロコシ、チヂミザサ、エノコログサ / ブドウ科：ヤブガラシ / アカバナ科：ユウゲショウ / カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ / トウダイグサ科：コニシキソウ / タデ科：ミズヒキ*、オオイヌタデ、イヌタデ / ヒユ科：イノコヅチ / オシロイバナ科：オシロイバナ / オオバコ科：オオバコ / サギゴケ科：トキワハゼ / キク科：アメリカセンダングサ、コセンダングサ、タカサブロウ、ヒメジョオン、ハキダメギク、ブタナ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ

木の花 ミソハギ科：サルスベリ / マメ科：ヤマハギ / モクセイ科：キンモクセイ

木の実 マメ科：フジ* / アサ科：ムクノキ / ウリ科：カラスウリ / ブナ科：シラカシ、コナラ / タデ科：イシミカワ / アカネ科：ヘクソカズラ

10月の観察アルバム



幹の隙間に隠れているナメクジ

今回のがたんのテーマは「ナメクジってなにもの？」でした。博物館の裏と手賀沼遊歩道で、ナメクジとカタツムリ及びその食痕を探しました。当日は前夜まで雨が降っていたお陰で、ナメクジが幹を這う様子を何匹も観察することができました。



今月の案内人
石原直子さん・伊東茂子さん



① カタツムリのものと思われる食痕。



② 落ち葉の中にいたチャコウラナメクジ。



③ 当日に見られた唯一のカタツムリ、ニッポンマイマイ。



④ カタツムリかナメクジのものと思われる食痕。



歩いたルートと観察した生き物



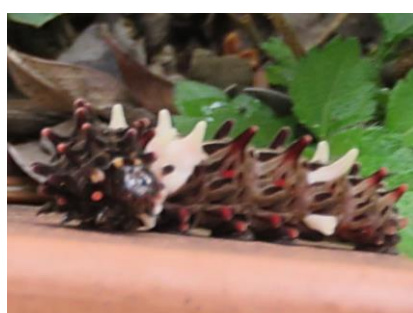
⑤ 木の幹にたくさんいたヨコツナサシガメ。



⑥ 木の幹に出てきたナメクジ。



⑦ 派手な模様のジョロウゴモ。



⑧ 鳥の糞に擬態するジャコウアゲハ幼虫。

今月の鳥 コガモ (カモ目カモ科)

手賀沼の冬を彩る鳥といえばカモ類ですが、その中で最も早く飛来し、真っ先に秋の訪れを告げるのが本種です。主に9～10月に渡来し、北へ戻る時期は最も遅く、5月です。ユーラシア大陸と北アメリカ大陸に広く分布し、両大陸の高緯度地域で繁殖します。オスは頭部が赤茶色で目の周りから後頭部にかけて緑色の模様があり、オスもメスも次列風切の一部は緑色で光沢があります。浅瀬の水面を好み、水面に浮いた植物の種子や水草の他、水辺に生える草の種子や葉・茎などを主に食べます。

